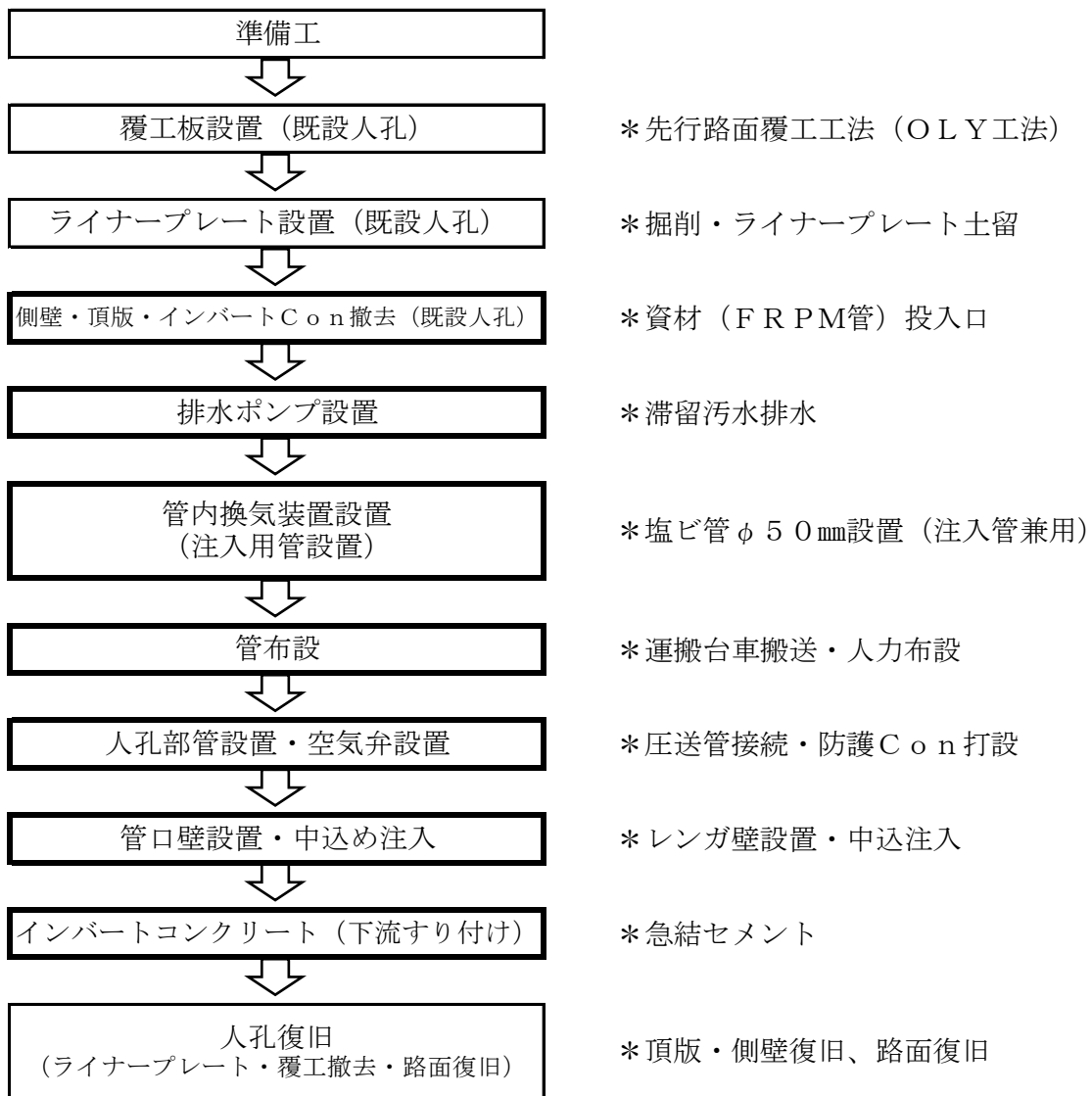


2. 施工フロー



2. 問題点

- 1) 管内作業は、午前0時（ポンプ停止）から午前5時までの5時間。
（準備（換気）および後片付けを考慮すると実質の管内作業は4時間）
- 2) 酸欠・硫化水素・可燃ガスおよび一酸化炭素の危険性。
- 3) 天候（降雨）の確認と作業の中止。

3. 対応と工夫点

1) 日常連絡体制の確立

時間	16:00	24:00	0:00	1:00	1:00~5:00	5:00	7:00
項目 連絡先	施工可否の 確認	施工可否の 連絡	作業開始の 連絡	管渠内入坑 連絡	その他情報	作業終了の 連絡	工程表の FAX
埼玉県荒川左岸 南部下水道事務所 工務・修繕担当 TEL 048-861-2051 FAX 048-861-2056	※施工可否 の連絡をする。 レでチェック <input type="checkbox"/>	/	/	/	/	/	※当日の作 業箇所及び 次回の予定 をFAXする。 レでチェック <input type="checkbox"/>
埼玉県下水道公社 南部支社 中央監視室 TEL 048-421-5861 FAX 048-421-5004	※当日作業 できるか電 話で確認 レでチェック <input type="checkbox"/>	※ポンプ停 止の依頼を する。 レでチェック <input type="checkbox"/>	※作業開始 連絡 レでチェック <input type="checkbox"/>	※管渠内入 坑連絡 レでチェック <input type="checkbox"/>	※緊急連絡 が入る可能 性があるた め、地上連 絡員は細心 の注意。	※作業終了 連絡 レでチェック <input type="checkbox"/>	※当日の作 業箇所及び 次回の予定 をFAXする。 レでチェック <input type="checkbox"/>
連絡者							

2) 坑内換気と酸欠・有毒ガスの測定

* 排水ポンプ設置までは、割込み人孔のマンホール開口から常時換気を実施し、酸欠等の測定も常時行って監視した。

作業員の入坑に伴っては、携帯用「複合ガス検知器」を身に付けて作業を実施した。

* 排水ポンプ設置後からの作業は、先に滞留汚水を排水することで、割込み人孔と既設人孔間が貫通状態になるため、割込み人孔から通気し、既設人孔からの排気を常時行って対応した。

酸欠等の測定・監視は同様に実施した。

3) モルタル注入用塩ビ管の設置

* 注入用塩ビ管は、1日当たりの計画注入量に基づき、施工日数分の本数を充填想定に沿った長さ別に設置した。

